

## Project report 6: クリエイティブ阪急 開店

阪急南千里駅下のガーデニングショップ・クリエテ阪急がリニューアルしました。従来は、園芸資材を中心とした店づくりでしたが、昨年、彩都にオープンしたマイアガーデン(当社設計)のショップコンセプトに順じて、ライフスタイル提案型のグリーンショールームに変貌いたしました。高架下のファサードは全面ガラスショーウィンドとし、白と濃茶のコントラストあるインテリア空間の中でテーマ毎のコンセプトゾーンを設けました。担当：内田、鶴野、徳田



正面入口周り

## Project report 7: 八尾市大正住宅建替え協議会

建替え協議会をはじめて5年目。実施設計が完成。1工区内住民の仮移転、旧住宅の撤去が行なわれ、建替え事業が目に見える形で進み始めました。協議会では、ペット飼育を認めるのかどうかについて、活発な意見交換を重ねています。今後も建替え後の共同生活のルールづくりを協議会で行なう予定です。



担当：柴田

## Project report 8: ジオ彩都のぞみ丘

平成19年春の大阪モノレール彩都西駅開業(彩都のランドオープン)に竣工予定のV6(ジオ彩都のぞみ丘)が10月末、着工しました。駅前3分の好立地、「駅」と「自然」に近い412家族の集合住宅として2年前のまちびらき時に竣工したV5(ジオ彩都みなみ坂)のコンセプトを継承発展させ一味違った新郊外の生活を提案しています。

事業主体：阪急電鉄(株)、担当：三好、内仲



出典：販売パンフレット

## Project report 9: 深谷第2住宅建替記録出版

「私たちはこうしてマンション建替えに成功した！」(深谷第二住宅建替推進委員会著・創元社)

千里NTで昭和43年に建てられた分譲マンションの建替記録の監修をお手伝いしました。住民自らが建替え実現までの苦労や工夫点を振り返り、建替えをめざす方々へのメッセージとしてまとめた本です。大学関係者等から「ありそうでない有意義な本。学生の指定図書にしたい。」等の声を数多くいただきました。建替えへの参考としてぜひ御一読ください。担当：柴田



## 《トピックス》

2004年度末に、PPI 所長三好に、大阪大学より工学博士の学位が授与されました。学位論文『郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究—兵庫県三田市のニュータウンと既存市街地との比較分析を通して—』は、三好が過去30年間、そして今現在も精力的に取り組んでいますニュータウン計画の知見と、複数のアンケート調査分析をベースにまとめ上げたものです。御関心のあります方は、論文を送付させていただきますので、御気軽に連絡下さい。

## 編集後記

最近、新規建物の設計に加えて、リニューアルやコンバージョンによる既存建物の活用、住民参加型の分譲マンション建替え関連業務といった、今日的なテーマの業務を行なっています。これらの業務を通して、持続的に発展する次世代型社会の創造に貢献していきたいと思っております。

## 編集・発行

(株)PPI計画・設計研究所  
〒540-0021 大阪府中央区大手通2-2-2  
トーンアップビル7F

TEL 06-6949-0901 FAX 06-6949-0902  
E-mail: ppi-osaka@pop07.odn.ne.jp  
URL: <http://www.ppi-osaka.com>  
(ホームページ上でもP-voiceが御覧になれます)

発行責任者：三好庸隆  
編集担当者：柴田明宏

Autumn Winter 2005・2006 VOL.8 PPI 計画・設計研究所

# P-voice

## プラハで考える

‘05年の夏、ある海外視察ツアーのコーディネーターとして、東欧はプラハ(チェコ)と北欧はストックホルム(スウェーデン)、ヘルシンキ(フィンランド)を訪れる機会があった。プラハは15年ぶりであり、ストックホルム、ヘルシンキも、久方ぶりのことである。大いに楽しんだ。プラハはヴルタバ川沿いの市内最高級ランクのインターコンティネンタルホテルに泊まった。以前このホテルに泊まったことがあるので、安心して企画に取り入れた。御存知の通り、このホテルやあの有名なカレル橋、プラハ城を含む旧市街一帯は世界遺産であり、おそらく東欧随一の観光エリアでもある。中世の面影を色濃く残しており、御一緒したメンバーのプラハの印象はすこぶるいい。比してプラハの新市街は現代建築も多く、取り立ててどうという事はないが、カレル橋を中心とする旧市街は、景観の破綻も少なく見事である。これに匹敵する日本の街は、京都の一角しか思い浮かばない。その京都とて、プラハ程景観コントロールが完璧とは言えない。このように欧州の都心の旧市街が、観光エリアとはいえ、それなりに今日の経済活動に順応し残している理由のひとつとして、“中世の4~5階建ての石造りの建築が、コンバージョンやエレベーターなどの設置で、容積的に都市化に追従してきたからではないか。一方、日本の旧市街は木造2階建てが中心で、都市化の過程でそれらの建築は建て直さざるを得ず、その建て直しの過程で建築のプロトタイプを持ち得なかった我国の都市景観は、コントロール不能の状況になってしまったのではないか…”という解釈を最近聞いた。まあそういうことだろう。

一方、ストックホルムの水面と、陸地部分が織り成す中心市街地の景観も美しい。ほればれする。美しい景観は、そこに住んでいる人々の知性、人間性を他者に無条件に信頼させてしまうような力強い効果がある。もちろん逆のことも然りである。スウェーデンの土地所有形態は、日本のそれとはかなり異なっており、特に都市中心部での私有権は強くなさそうで、おそらく景観のコントロールもしやすく、日本の比ではないのであろう。

毎度のことではあるが、これらの諸都市から帰国した直後は、お世辞にも美しいとはいえない日本の都市景観を前にして、しばらく落ち込む。考え込んでしまう。我々は、経済論理の上位に位置づけうる都市美の論理を、いつになれば獲得することができるのであろうか。

‘05、’06年秋・冬 所長 三好 庸隆

プラハ旧市街



カレル橋(プラハ)



ハンマビー臨海再開発地区(ストックホルム)



Project report 1: **デイセンター計画** (PPIの福祉施設についての考え方とその試み)

わが国の高齢社会は深刻な局面を迎えており、これまでも多くの福祉系施設が計画・建設されていることは御周知のことかと思えます。PPIにおいても、松下電工エイジフリー・デイサービスが運営するデイセンター(通所介護施設)の設計を依頼され、今年度は近畿圏で7件のデイセンターの開設に携わりました。開設されるデイセンターの規模は約80坪から100坪を基準としており、そのほとんどが飲食施設などの商業施設であった所を用途変更してデイセンターとして整備しています。(1件のみ新設) デイセンターの設計のポイントは、約30人が食事や簡単な作業ができる機能訓練回復室兼食堂、浴室(2浴槽)、トイレ(2~3ヶ所)、畳コーナー、静養室、スタッフルーム、厨房などを利用者の動線に配慮しながら効率よく配置することです。また、建物の外観や室内の雰囲気もこれまでの病院の延長上のようなデザインではなく、明るいカフェのようなくつろげる雰囲気を目指しました。

「東住吉デイセンター」の外観・内観(新設タイプ)



「北鈴蘭台デイセンター」の外観・内観(従前:スーパー)



デイセンター諸要素(左:機能訓練コーナー、中:手洗いコーナー、右:浴室、下:畳コーナー)



- 《事業内容》
- ・通所介護事業
  - ・生活相談
  - ・健康チェック
  - ・送迎・入浴・食事等のサービス
  - ・各種アクティビティ

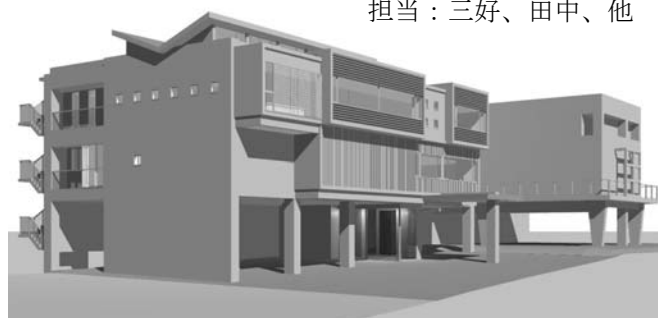
《プロジェクトデータ》

名称: 松下電工エイジフリー・デイセンター  
 所在地: 神戸市(3)、大阪市、池田市、枚方市、京都市  
 延床面積: 250㎡~330㎡  
 事業主体: 松下電工エイジフリー・デイサービス株式会社  
 PPI担当: 内田、近藤、綱井

Project report 2: **Kクリニック増床計画** (医療施設計画)

西神中央地区でレディースクリニックの増築計画が進行中。増築とはいえ、RC造で1Fはエントランス及びピロティ形式の駐車スペース、2F、3Fの延床面積は約850㎡と、ほぼ新設クリニック軒分の規模。機能的で健康感あふれるクリニック空間の創造がテーマで、PPIが関心を持って取り組みつつある医療・福祉系プロジェクトのひとつ。平成18年1~2月頃着工予定。

担当: 三好、田中、他



Project report 3: **堺女子短期大学 キッキングスタジオ&メイクスタジオ** (リニューアルとコンバージョン計画)

かねてよりお手伝いしている短大の改装を行ないました。  
 ■クッキングスタジオ: 学生以外の外部も利用できる調理教室とし、1つの机をグループで囲みながら調理が学べるデザインとしています。  
 ■メイクスタジオ: 教室の2面の壁に鏡とメイクカウンターを設置し、メイクの実技と理論が学べるデザインとしています。



事業主体: 堺女子短期大学、PPI担当: 内田、近藤、綱井

Project report 4: **聖書学院 移転計画** (リニューアルとコンバージョン計画)

西宮市の関西聖書学院は、阪神大震災によって大きな打撃を受けました。PPIのスタッフの1人が教会員ということで、刷新計画のメンバーに加えていただき、共に議論を重ねてきました。全面移転の議論を重ね、昨年11月に現地建替えの方針が決まった翌月、今回の生駒の物件の話が飛び込んできました。“眺望の良い傾斜地に建つ元銀行の研修所”という聖書学校には申し分のない立派な建物でした。限られた予算の中、一つ一つ問題を解決していき、大きな機能改修、付加は建設会社の力をお借りしましたが、その他の美装、植栽の伐採、手入れ等については現在学んでいる神学生達及び教会のメンバーの方々が一丸となって作業を行ない、見違えるようなすばらしいキャンパスに生まれ変わりました。11月3日には新キャンパス献堂聖会が行なわれ400人以上の人達が集まり、共に新キャンパスの移転を喜ぶことが出来ました。『神のなさることは、すべて時にかなって美

しい。・・・しかし人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。』の聖書の御言葉のように、ますます祝福された聖書学院となることを心から願っています。  
 《プロジェクトデータ》  
 名称: 関西聖書学院、所在地: 生駒市門前22-1  
 敷地面積: 12,536.46㎡、延床面積: 3,736.11㎡  
 担当: 鶴野

正面出入口部分

Project report 5: **近商ハーベス白庭台 開店**

2006年春開通予定の京阪奈新線・白庭台駅に近接する場所に、街の核となるスーパーマーケットとして『KINSHO白庭台店』が9月にOPENいたしました。湾曲する道路沿いに面して緩やかなカーブを描く縦リブの壁面とガラスボックスとの構成が、非常に軽快で開放感を感じさせる建物となっています。夜には道路沿いに内部空間がショウケースのように浮き上がり、昼とは違ったまた別の顔を見せてくれます。新駅も開通し、これから成熟していく新しい街のシンボリックな存在になってもらえるよう願っています。  
 担当: 内田、鶴野、徳田

《プロジェクトデータ》

名称: スーパーマーケットKINSHO白庭台店  
 所在地: 奈良県白庭台3丁目14-1  
 敷地面積: 5206.27㎡、延床面積: 2532.53㎡  
 事業主体: (株)近商ストア

正面出入口部分